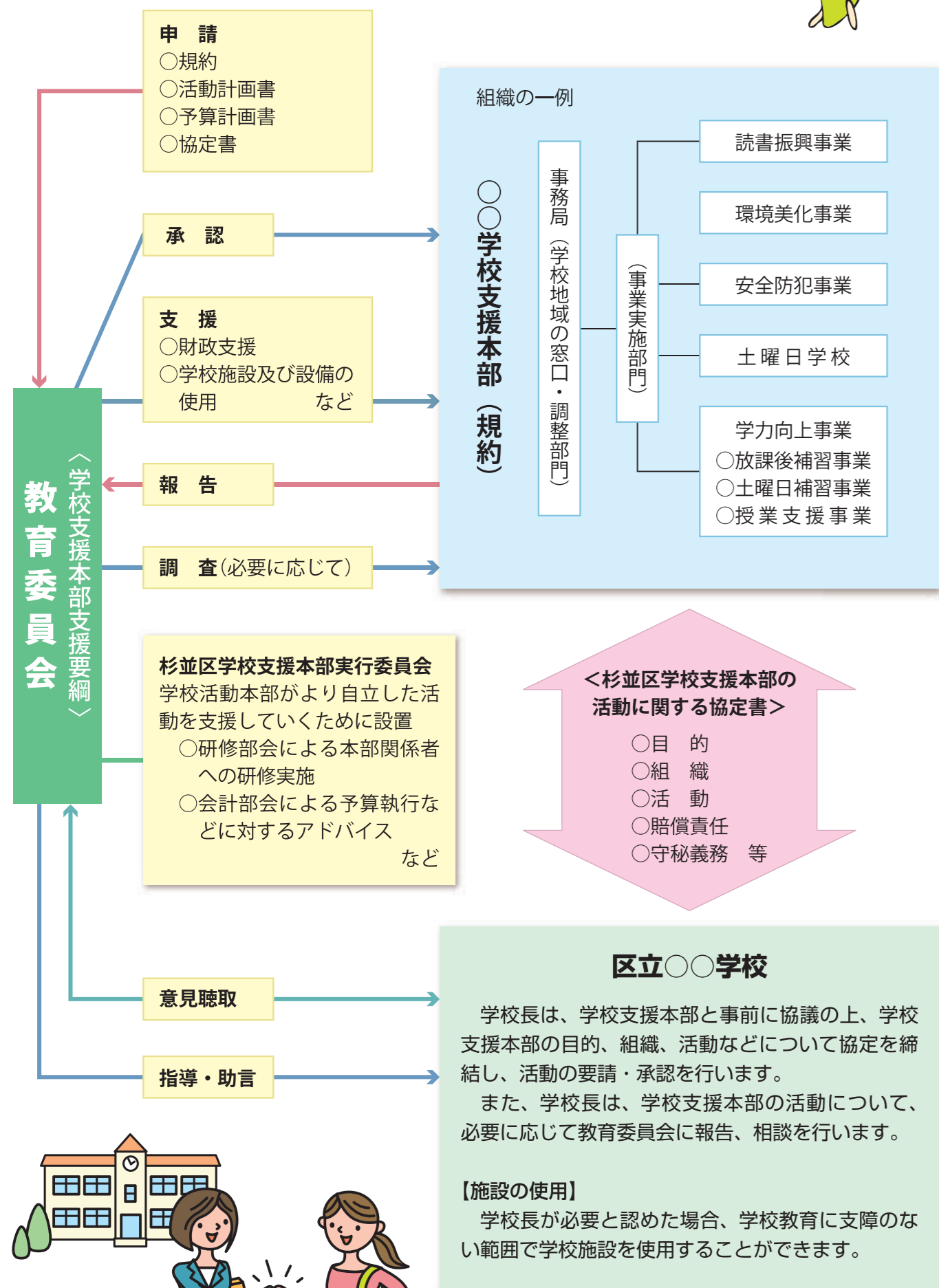


## 学校支援本部と学校・教育委員会の関係



## 学校支援本部のここが知りたい



- Q1 学校支援本部の事務局に置かれている「地域コーディネーター」はどのような役割なのですか？**  
学校とボランティア、ボランティア間の連絡調整などを担い、学校と外部をつなぐ中心的な役割を果たしています。配置人数は特に決めていませんが、学校の状況やニーズを把握するため、学校のよき理解者であるとともに、地域に精通していることも求められます。
- Q2 学校支援本部の活動内容が学校によって違うのはなぜですか？**  
学校支援本部は、学校と地域のパートナーシップにより、まずは学校の教育活動の支援を目的としています。各本部では学校のニーズに応じた支援を目的としているため、学校の事情等に応じて様々な活動が行われています。また、本部側から学校への支援活動の提案により活動の幅を広げている場合や、「放課後子ども教室」や「土曜日学校」などのように、放課後や学校教育活動外の活動との積極的な連携を図っている学校や、複数の学校からなる合同型の支援本部を設置している地区もあります。
- Q3 教員・PTAと学校支援本部との関係はどのようになっているのですか？**  
学校支援本部は、地域住民や元保護者が中心になって組織される自主的な団体ですので、学校長・副校長は本部組織の構成メンバーとして加わらずに、あくまで学校側の窓口という立場として関わります。また、PTAの活動も教員と保護者との連携が主な目的ですので活動が競合することはありませんが、教員やPTAとも連携・協力して取り組むことが期待されます。
- Q4 これまで学校は地域の団体・個人などからも様々な支援を受けてきましたが、そうした団体等との関係はどうなるのですか？**  
学校は、町会・自治会をはじめ、商店会、青少年委員、民生児童委員など、地域の様々な方々のご支援・ご協力をいただきながら学校運営を行っています。学校支援本部は、これらの地域団体等とも連携・協力しながら、学校の求めと地域の力をつなげて、より効果的な学校教育活動の支援を担う実働組織です。
- Q5 学校支援本部に対して、区教育委員会はどのような支援をしているのですか？**  
区教育委員会では、学校支援本部の運営が円滑に行えるよう、事務局等本部予算として、各本部に対して財政支援を行うとともに、学校施設・設備の使用許可、研修・成果発表会の実施、活動マニュアルの整備などの支援を行っています。なお、平成22年度までは、国費(学校支援地域本部事業)の活用により、地域コーディネーターの人件費分を加算して財政支援しています。

### 教育委員会事務局教育改革推進課

杉並区教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

電話 03-3312-2111 (大代表)

いいまちはいい学校を育てる～学校づくりはまちづくり

# 学校支援本部



学校支援本部は、地域の志のある人たちと一緒に学校を育てるために設置された、ボランティアによる新しいネットワーク組織です。

杉並区は学校教育に対する区民の関心が高い地域で、これまでも地域の方々から様々な形で協力を得ながら学校運営や教育活動が行われるなど、地域との連携が図られてきました。学校支援本部は、こうした取組をさらに発展させ、より組織的に学校支援を進めようとするものです。

区教育委員会では、平成18年度から学校支援本部の取組への支援を全国に先駆けて開始し、学校のニーズと地域の力を効果的に結びつけながら、地域ぐるみで学校の教育活動の充実に努めています。

杉並区教育委員会

## 学校支援本部とは

### 【学校等を取り巻く環境変化】

近年、子供たちや学校を取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下し、その分、学校への過剰な期待や要求が膨らむことで、教員の負担も増大してきました。そこで、学校・家庭・地域が一体となって学校教育を支援し、地域ぐるみで子供を健やかに育てる体制づくりを行う、学校支援本部の取組が欠かせなくなっています。

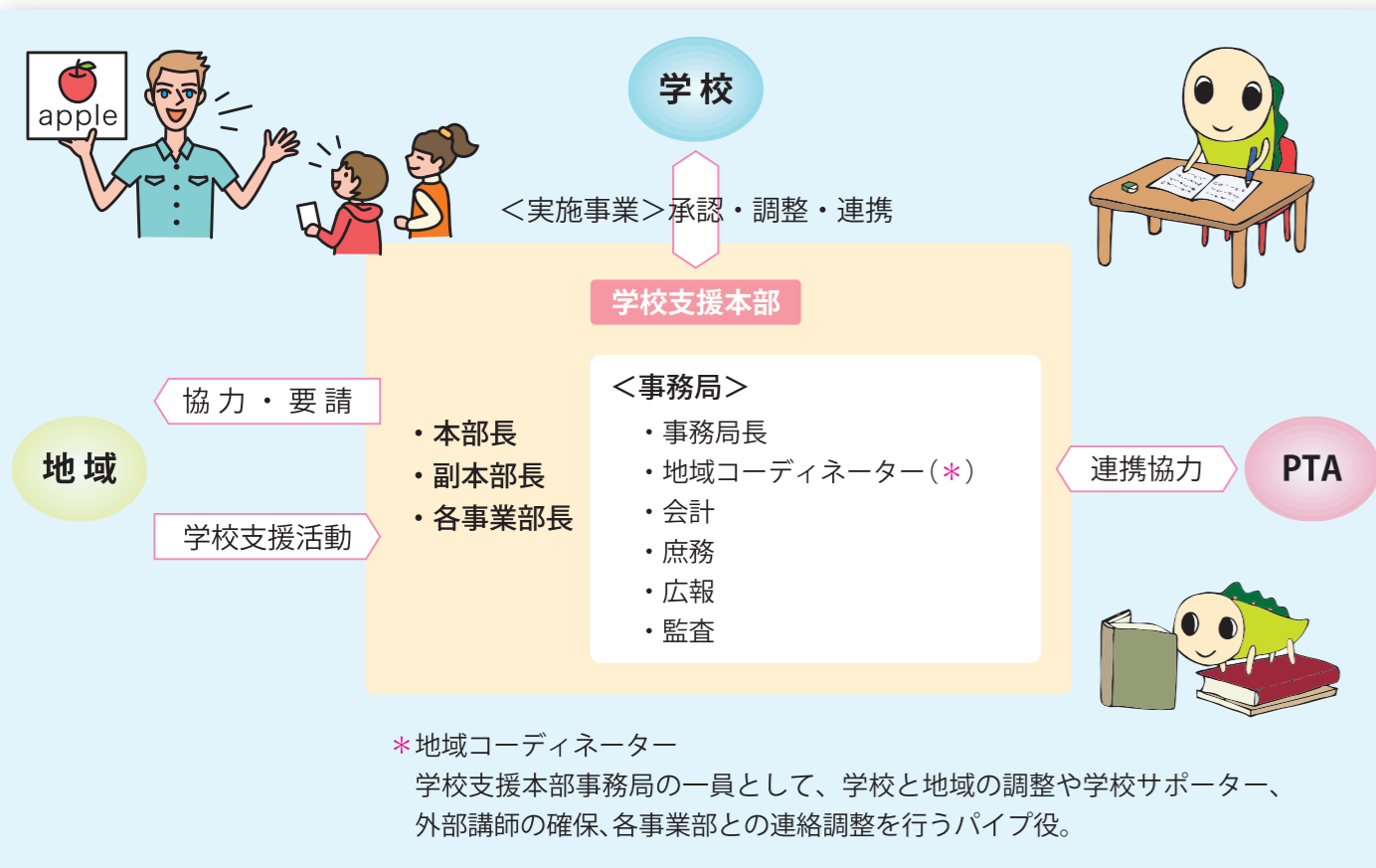
### 【学校支援本部のねらい】

これまで学校が行ってきた地域のボランティアとの連絡や日程調整等を、学校に代わって地域の方々が担うことで教員等の負担を減らし、授業準備や部活動など子供と向き合う時間に充てられるようにして、教育活動のさらなる充実を図ろうとするものです。こうした支援は、放課後や学校外の活動にも及び、地域全体の教育力の向上や学校を核としたコミュニティの形成にもつながっています。

### 【学校支援本部の仕組み】

学校支援本部は、代表者として本部長が選任され、本部内には事務局が設置され、事務局長・地域コーディネーター・会計・庶務などの担当が置かれています。本部のもとに各事業が配置され、学校支援ボランティアが様々な活動を行っています。

### 学校支援本部の組織・活動（イメージ）



## 学校支援本部の活動

学校支援活動の内容は、学校と学校支援本部の間で取り交わされる協定書に基づき、大きく「学校教育活動」（＝学校管理下の活動）と「学校教育活動外の諸活動」に分けられます。各事業は、学校の求めに応じ行われますが、学校支援本部が自ら企画・提案し、校長の承認のもとで行うこともできます。

実際に支援活動を行う地域の方々は、ボランティアとして、各自ができることを、できる時に、できる範囲で、意欲と関心を持ちながら自発的に活動しています。多様な知識・経験を持つ地域の大人が、学校支援活動を通して子供たちとふれ合うことで、きめ細かでより質の高い教育活動が可能となります。

### 【学校支援活動の区分】

具体的な活動は、大きく2つの内容に分けられます。

- 学校長や教員の求めに応じた、地域人材による**学校教育活動内**の支援
- 地域特性を活かした地域の企画による**学校教育外提案活動**の実践（学校長の承認が必要）



学校教育活動（学校管理下の活動）		「学校教育活動」外の諸活動
<b>教育課程内</b> （学習指導要領に基づく領域） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各教科</li> <li>● 道徳</li> <li>● 総合的な学習の時間</li> <li>● 特別活動</li> </ul>	<b>教育課程外</b> （学校が計画する領域） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動</li> <li>● 休憩時間</li> <li>● 登下校中 ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども子育て支援事業（青少年委員・育成委員会）</li> <li>● 地域まつり（町会・PTA）</li> <li>● おやじの会（PTA）</li> <li>● スポーツ少年団（地域団体）ほか</li> </ul>
<b>学校支援本部の活動（例）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業のゲストティーチャーの紹介</li> <li>● 授業中の本の読み聞かせ者の調整 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書室運営支援</li> <li>● 授業前の学習支援（「朝の読み聞かせ等」）</li> <li>● 部活動外部指導員紹介</li> <li>● 登下校安全管理</li> <li>● 校庭芝生の管理 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土曜日学校</li> <li>● 放課後子ども教室</li> <li>● 本部の独自事業 など</li> </ul>

### 学校の依頼による活動

### 学校長の承認による活動



## 学校支援活動の様子



学校支援活動は、様々な地域住民により支えられています。外国人を招いた異文化に触れる国際交流や、茶道や書道を通じた日本の伝統文化の体験、また、地域の人が先生となり、毎朝、読み聞かせ等を行う朝先生など、地域の人材ネットワークに支えられ、教育の充実に結びついています。

### 国際理解



区内にお住まいの外国人の協力で、文化や習慣などを直接お話いただき、国際理解を図ります。

### 担当教員との打ち合せ



よりよい授業支援ができるように、担当教員と授業の内容等について、事前に打ち合せをし、ニーズにあった講師等と呼んできます。

### 図書室環境整備



子供たちが図書室を利用しやすいように、ボランティアが本の整理、本の修理、読み聞かせなどを行っています。

### 伝統文化



地域の中から、専門家等にご協力いただき、日本の伝統文化に触れる機会を設けています。

### 登下校の安全



子供たちが毎日、安全に登下校できるように、ボランティアが通学路に立ったり、巡回しています。

### 理科実験教室



民間企業の社会貢献事業等を活用し、様々な実験等を行っています。